

学校教育目標

- ・豊かな心を持ち、思いやりのある人間の育成を図る。
- ・自ら学ぶ意欲をもち、主体的に行動する人間の育成を図る。
- ・心身とも健康で、たくましい人間の育成を図る。

1 目的

自主的・自発的な活動を通して、生涯にわたり運動や文化に親しむ能力や態度と心身の健康を身に付けることができる。

2 運営

適切な活動時間

- ・学業とのバランスや生徒の体調等を考慮し、活動時間等を以下のように定める。

○休養日

平日は、週1日以上、土日は、週1日以上の休養日を設けることを原則とする。ただし、競技の特性、施設面の特性を考慮し柔軟に休養日を設定する場合においても、年間100日以上
の休養日は設定することとする。また、平日と休日のバランスについては均等となるようにする。
なお、本校では、木曜日は全部活朝練も午後練も行わない全校休養日とする。

○活動時間

平日は2時間程度、土日は3時間程度を原則とする。ただし、競技の特性、施設面の特性を
考慮し柔軟に活動時間を設定する場合においても、週あたり16時間程度を超えない範囲で設定
することとする。

○長期休業中

原則、上記に準ずる。また、お盆、年末年始は長期の休養日も設ける。

○その他

- ・大会等で、休日に休養日を設けることができなかった場合は、別の日に設定する。
- ・活動時間とは準備、片付け、移動時間は含まないものとする。
- ・学校の実態と施設の有効活用を考慮し、朝と放課後を別々の日として休養日を設定できる。
- ・大会参加にあたっては、生徒、顧問にとって過度な負担にならないように参加・不参加については配慮する。

活動規約（規定）

1 設置部活

原則、顧問が1名以上、活動可能な複数生徒が在籍し、活動場所が確保できるものとする。

2 入退部

(1) 入部、退部は、次のような手続きで行うものとする。

入部・・・保護者の同意のもと、入部届を担任と顧問に提出する。

退部・・・保護者の同意のもと、退部届に退部理由を記入し、担任と顧問に提出する。

(2) 2・3年生に関しては部活動継続届を担任と顧問に提出する。

3 活動について

(1) 活動は原則として、顧問の指導下で行う。

(2) 顧問は練習計画を作成し、生徒に配付する。

(3) 活動は、生徒のニーズや学校の実態に応じて実施する。また、練習強度や練習にかかる時間が違うことを考慮に入れ、平日2時間程度、休日3時間程度、週16時間程度の範囲で実施する。（準備や片付け、移動時間は含めない。）木曜日は全部活午前、午後共に休養日とする。

(4) 大会やコンクール等で適切に休養日を設定できなかった場合は、別の時期に設定する。

(5) 平日の活動

①朝練習

ア 顧問が必要だと判断した場合のみ実施する。ただし、登校時間から顧問がつき、顧問の指導下で行うものとする。

イ 生徒は7:00の昇降口解放に合わせて登校する。必要以上に早く登校しない。

ウ 練習は7:10～7:55とする。（8:10までに教室入室を完了させる。）

エ 活動場所に直接行き、不必要に校舎や教室に立ち入らない。

オ 終了後は活動場所で校内服への更衣を済ませてから教室に移動する。

②放課後の練習

ア 練習開始時刻は、帰りの会終了の10分後～とする。

5時間授業

6時間授業

平常時程	15:10	16:10
------	-------	-------

イ 活動終了時刻は、完全下校時刻の15分前までとする。

4月	18:00	5月～7月	18:15	8月	17:00	
9月	18:00	10月	前半	17:45	11月	17:15
			後半	17:15		
12月	17:00	1月	17:15	2月	17:30	
3月	17:45					

ウ 活動終了時刻まで部活動を行なった部の顧問は、必ず正門での下校指導を行う。当日の完全下校時刻については、予定表等を通じて顧問から、加えて朝の会等で担任から伝える。

エ 木曜日は全部活午前、午後共に休養日とする。

オ 個人の荷物は活動場所に持っていく。（終了後は校舎に入らない。）

カ 制服で下校させ、完全下校時刻は顧問の責任で守らせるように指導する。

キ 定期試験中、及び、試験前5日間は活動を停止する。

※この期間に小中体連主催の大会やコンクール等がある場合については校長の許可のもと、保護者の同意を得て1週間前から30分の延長を認める（要活動同意書）。

ク 短縮日課等の昼食は、各部活で決められた場所とする。ただし、パン等を買に行ったり、校外の食堂に行ったりすることは禁止とする。〔飲み物の中身は水、お茶（どちらも無糖のもの）、スポーツドリンクとする。水筒かペットボトルに入れて持参する。〕

ケ 自転車登校、登下校中の買い物は禁止とする。

コ 雨天などの理由で校舎内にて活動する場合は、安全に十分配慮し、練習内容に留意する。

③延長について

ア 小中体連主催の大会やコンクール等がある場合については、校長と協議し、保護者の同意を得られた場合は大会2週間前から最長4日間各日30分の延長を認める（要延長同意書）。

イ 関東大会、全国大会やそれに準ずるコンクール等に出場する際の延長については、校長と協議し決定する（保護者の同意はアと同様に得るものとする）。

(6) 休日の活動

ア 校舎を使用しない部活は、校舎に立ち入らない。

イ 校舎を使用する部活は、顧問が責任を持って生徒昇降口の解錠と施錠をする。（格技場等の活動場所も顧問が鍵を開ける）

ウ 活動で使用したトイレは清潔な状態に戻すこと。

エ 練習時間は、原則として8:00~17:00の間で3時間程度の活動を行うものとする。

オ 公式戦や練習試合、発表会などでやむを得ず上記時間以外に活動せざるを得ない場合は、事前に学校長の許可を得ること。

カ 自転車による登校・移動は認めない。

キ 生徒の負担にならない範囲で、顧問が計画的に実施するものとする。

ク 大会やコンクール等（招待されるものも含む）は、活動時間が長時間になりやすいことから、生徒の過度な負担にならない様、精査して参加する。

(7) 休養日

ア 平日週1日以上、土日週1日以上休養日を設けることを原則とする。

イ 年間で100日間は休養日とし、全校で共通して設定する休養とする。

(8) 練習時の服装

ア 原則として、学校の体操服・ジャージを着用する。ただし顧問が許可したもの、もしくは部で購入したユニフォーム・ジャージなどでの活動は認める。

イ 体操服・学年ジャージ以外の練習着を授業中・活動時間以外で着用しないことを徹底する。

ウ 学校または顧問の指示により再登校した場合は、ジャージ・体操服も可とする。

エ 土日祝の部活動の場合、部活着での登下校を認める。

(9) 怪我や事故への対応

生徒の安全な活動に留意し、用具や活動場所の点検、整備を怠らない。また、部活動中のルールを徹底するとともに、顧問が活動を離れる際の練習内容には安全への配慮をする。怪我や事故が発生した際には以下のように対応することとする。

ア 平日の場合は、軽症の場合を除いて養護教諭の指示に従う。その後、校長（教頭）への報告を行い、家庭、担任、生徒指導主任へ報告をする。

イ 休日の場合は、まず保護者に連絡する。その後、翌日以降（大きなものは当日、対処後すぐ）に校長（教頭）、担任、生徒指導主任、養護教諭に報告する。

ウ 首から上の怪我の場合は大小に関わらず、保護者に連絡し、受診するようにする。また、緊

急を要する場合は、躊躇せずに救急搬送の手配をすること。

(10) 部活動保護者会

- ア 毎年1回以上部活動保護者会を開き、保護者に対して指導方針等を確認する。2回目以降は顧問や校長の判断で必要な場合実施する。
- イ 保護者会では、資料をもって以下について示すこととする。
 - ①活動目標②活動方針③顧問④部員数⑤年間活動計画（参加大会等）⑥活動に係る費用⑦購入品⑧練習予定と活動場所（平日及び休日）⑨遅刻、欠席の連絡方法⑩その他

(11) 3年生の引退後の部活動参加について

3年生は年度末（3月31日）までは四中の生徒であり、部活動顧問が指導することは可能である。ただし、各部活動における引退後に部活動に参加できる生徒は以下に当てはまる生徒とし、校外で活動する場合には校長（教頭）の許可を得るものとする。

- ア 引退後に選抜等の活動があり、継続して活動することが望ましい生徒。
 - イ 進路選択に実技が関係し、かつ進学後にその部活動を続ける意志のある生徒。
 - ウ 進路が決定し、進学後もその部活動を続ける意思のある生徒。
- いずれの場合も生徒個人の判断ではなく、事前に保護者と担任、顧問の同意が得られている場合に参加が可能となる。また、所定の手続きを踏み、休日の部活動参加については、顧問及び担任と相談し、保護者の同意が得られた場合は参加できるものとする。平日は、顧問の許可がある場合に参加できるが、現役の生徒の活動を最優先とし、十分に安全に留意させる。

4 大会やコンクール等の参加について

- (1) 大会やコンクール等に参加する際は、校長に参加の意志を報告し、生徒と保護者の同意を得る。
- (2) 校長は、参加状況を把握し、生徒、顧問の過度な負担にならないように参加するものを精査させる。あわせて、保護者の理解を深めることに努めさせる。
- (3) 参加にあたって顧問は、保護者及び校長（教頭）に確実に報告する。

5 部活動・顧問・活動場所一覧

部活動	顧問名	活動場所	各部の保護者会場所
野球	吉澤 西林	グラウンド	3-6
陸上・特設駅伝	新田 渡邊裕子 舩	グラウンド	体育館
サッカー	横須賀 稲川	グラウンド	2-1
ソフトテニス	小松 柴原 菊池	グラウンド	3-4
バレーボール	菊地 橋本	体育館	3-3
バスケットボール	藤 小林 多賀	体育館	3-1
バドミントン	原 石井し 大倉	体育館	1-5
剣道	伊藤 石井勇 一柳	格技場	2-4
卓球	萩原 渡邊裕介（吉川）	格技場	1-1・2
水泳	渡邊玄（多賀）	プール	英語ルーム
吹奏楽	栢木 川津 吉川	第1音楽室	第一音楽室
合唱	小倉 泉水 山田	第2音楽室	3-5
理科	星野 坂田	第2理科室	第2理科室
美術	岡室（一柳）	第1美術室	第1美術室
英語	齋藤 吉田	スタディールーム	スタディールーム